

Hospital Concert

石井 修・石井英子
コンサート

【日時】 2015年8月20日(木) 17:00~17:40
【場所】 がん研有明病院 1階ホスピタルストリート



がん研 有明移転 10th Anniversary



【プログラム】

- ♪. セレナータ (トスティ)
- ♪. オンブラマイフ (ヘンデル)
- ♪. ロンドンデリーのうた～ふるさとに捧ぐ～
- ♪. 苗や苗
- ♪. 落葉松
- ♪. 帰れソレントへ
- ♪. 夢のあとに (フォーレ)
- ♪. スタンドアローン (NHK ドラマ「坂の上の雲」より)

※ 曲目、曲順は変更されることがありますが、ご了承くださいませ

【演奏者プロフィール】

石井 修 (Tenor)

国立音楽大学声楽科卒業。卒業演奏会に出演。二期会第 26 期研究生終了。二期会“新進声楽家の夕べ”等出演。東京文化会館推薦音楽会オーディションに合格、同演奏会に出演。川口市リアオープン記念第 9 回演奏会及び東京文化会館主催第 9 演奏会のソリストオーディションに合格、同演奏会にソリストとして出演。第 9 回埼玉県新人演奏会オーディションに合格、同推薦演奏会に出演。浦和市民オペラ創立 10 周年記念オペラ「蝶々夫人」にピンカートン役で出演、久岡 昇、村田健司の各氏に師事。現在発声を中心に後進の指導にあたる。埼玉県立がんセンター、栃木県立がんセンター、がん研有明病院、川口市立医療センター、NTT 東日本関東病院にて演奏を行っている。2010 年 12 月、埼玉県立がんセンターを通じて、上田清司埼玉県知事より感謝状を授与される。1998 年より年 1 回のリサイタルを開催している。


石井英子 (Piano)

武蔵野音楽大学武蔵野高等学校卒業。武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。声楽、器楽の伴奏者としてコンサート等で活躍。多くの音楽大学生、卒業生などの後進のピアノ演奏指導にあたる。また、合唱の指導、編曲を手がける。病院でのボランティアコンサートにも力を入れており、現在、川口市立医療センター、埼玉県立がんセンター、がん研有明病院、栃木県立がんセンター、NTT 東日本関東病院で定期的に演奏を行っている。その様子は 2006 年 4 月読売新聞社会面「生きる」～緩和ケア病棟から～のシリーズで記事として取り上げられ、大きな反響を呼んだ。2010 年 12 月、埼玉県立がんセンターを通じて、上田清司知事より感謝状を授与される。2013 年 5 月、川口市立医療センターを通じて全国自治体病院協議会より会長表彰を受ける。

がん研ボランティアシンボルマークのご紹介



がん研ボランティアシンボルマーク

がん研究会のかにのシンボルマーク  に因み、かにはさみがボランティア (Volunteer) の V マークを象り、2 つのかにはさみは手と手を取り合い、助け合いをイメージしたマークです。

ホスピタルコンサートのご報告



演奏ボランティアとして永年当院での演奏活動をしてくださっているテノール歌手の石井修さんとピアニストの石井英子さんご夫婦をお迎えしてホスピタルコンサートを開催しました。聞きなじみのある曲を多く演奏してください、皆さんうなずいたり、リズムをとったりして聞き入っていらっしゃいました。ロンドンデリーのうたは様々な歌詞がつけられており、今回歌っていただいた歌詞は～ふるさとに捧ぐ～という副題がつけられており、震災後に故郷を思っつけられた歌詞だそうで、目を閉じて思いをはせる方、涙を流す方もいらっしゃいました。

開演前に当日が誕生日の患者さんからのリクエストがあり、8月生まれの皆さん全員のお祝いとして、『Happy Birthday』の歌で、会場の皆さんの大合唱となりました。入院患者さんから花束贈呈の後、最後にもう1曲とアンコールをお願いしたところ、会場の皆さんのご要望で井上陽水さんの「少年時代」を演奏していただきました。修さんの響き渡る歌声と英子さんのピアノのきれいな音色で会場全体が優しい雰囲気に包まれる素晴らしいコンサートとなりました。最後に新病院長の山口先生と記念撮影をして、大盛況のうちに終了いたしました。石井さん、素敵なコンサートをありがとうございました！！